



特定ウィルスを  
**99%**除去

「ウィルスファイター」は、天然ホタテ貝殻から生まれました。  
pH値が11~12で、細菌やウイルス、臭いの分子等は生存しにくい領域のため、  
抗菌・防臭性能が現れます。  
また、強い塩基性でありながら、物理的安全性試験において安全領域にあります。

# 「ウィルスファイター」の抗菌力

大腸菌、大腸菌o-157、黄色ぶどう球菌、サルモネラ菌、モルガン菌等の菌群に対して高い抗菌性を発揮します。

供試菌	減少率・静菌活性値・生菌数	試験方法
大腸菌	>99.9 (%)	シェークフラスコ法
大腸菌o-157	>99.9 (%)	シェークフラスコ法
黄色ぶどう球菌	>99.9 (%)	シェークフラスコ法
サルモネラ菌	<1 生菌数	ハロー法
モルガン菌	>4.8 抗菌活性値	Jis Z2801,5準用

※表中の数値は実測値であり保証値ではありません。

## 試験方法

### シェークフラスコ法(※1)

培養した生菌数を測定。試料を三角フラスコの中に入れ、強制的に拡販する(1時間)方法

試料と菌をまんべんなく触れさせる。

試料を入れない時の菌の数と、試料を入れた状態での菌の数から計算した滅菌率が26%以上であることが評価基準とされている。

### Jis Z2801,5準用 (フィルム密着法)

供試品表面に菌液を滴下してポリエチレンフィルムで被覆し、35°C保存。生菌数を測定する。対照試料上の生菌数との増減値差を対数により求める方法。

## 「ウィルスファイター」の消臭力

酢酸ガス（汗臭）、イソ吉草酸ガス（足、靴の臭い）、イネナールガス（加齢臭のもと）、硫化水素ガス（排泄臭）、アセトアルデヒドガス（VOC）に対して高い消臭力を発揮します。

供試ガス	減少率
酢酸ガス（汗臭）	98(%)
イソ吉草酸ガス（足、靴の臭い）	≦99(%)
イネナールガス（加齢臭のもと）	≦99(%)
硫化水素ガス（排泄臭）	≦99(%)
アセトアルデヒドガス（VOC）	62(%)

※表中の数値は実測値であり保証値ではありません。

# 「ウィルスファイター」の安全性

強い塩基性でありながら、物理的安全性試験において安全領域にあります。

物理的安全性試験名	試験内容	試験結果
皮膚一次刺激性試験 <b>(長く触れた時の炎症)</b>	ウサギを用いた 皮膚一次刺激性試験	P.I.I (一時刺激性係数) 0.8 <b>(安全領域)</b>
急性経口毒性試験 <b>(飲み込んだ時の有毒性)</b>	ラットを用いた 急性経口毒性試験	LD50値2,000m g /Kg <b>(安全領域)</b>
変異原性試験 <b>(遺伝子DNAへの影響)</b>	最近のヒスチジン合成に関する 遺伝子判定	復帰変異コロニー数の増加なし <b>(安全領域) 「陰性」</b>
皮膚感作性試験 <b>(皮膚へのアレルギー反応)</b>	モルモットを用いた 皮膚感作性試験	皮膚感作性を有さない。 <b>(安全領域) 「陰性」</b>

※表中の数値は実測値であり保証値ではありません。

## ウイルス不活性化試験・ミュータンス菌抗菌性試験データ

試験ウイルス	対象	減少率		
		20分後	1時間後	3時間後
インフルエンザウイルス	検体1	32.73 (%)	検出せず	検出せず
	ブランク	9.09 (%)	-3.6 (%)	3.6 (%)

TCID50median tissue culture infections dose, 50%組織培養感染量

※1洗い出し液1mlあたりTCID50の対数値

※2室温保存

対照：プラスチックシャーレ

<1.5：検出せず

試験菌	ウイルスファイター濃度	開始直後	1分後 (減少率)	2分後 (減少率)	5分後
ミュータンス菌 IFO 13955	3%	1200000	680000 (43.3 %)	180000 (85.0 %)	1700 (99.85 %)
	5%	1200000	580000 (51.6%)	220000 (81.7 %)	1300 (99.89%)
	0%	1200000			740000 (38.3%)

※表中の数値は実測値であり保証値ではありません。

0%は精製水

各検体の開始時の生菌数は、0%試料の開始時の生菌数を表示